

# 道路行政について

## 市原 新



**市原** 立塚地区にある市道南池鶴・大久保線は、側溝が土砂で埋まり路面もクラックが入り、大変傷んでいる。舗装も浮いているところがあるが改修計画はあるのか。

**伊藤建設課長** 舗装にクラックがありまして、激しいところでは約100m程亀の子状になっています。3回ほどオーバーレイ工事を行っておりますがクラックが入っております。その原因は地盤が悪いからと思われるので、舗装を剥ぎ、地盤を強化する必要がありますが、予算も高額になるので、優先順位を考えて検討させていただきます。

**市原** 間伐作業道向畑線については、森林の間伐率が悪く現在も砂利道である。間伐率は伸びていないのか。  
**本山農政課長** 工事後、間伐を実施した面積は約1haで、受益面積の10%程度であります。

**市原** 補助金適正化法はクリアしているのか。

**農政課長** 作業道開設後、5年を経過しているためクリアしております。

**市原** この路線は、赤仁田集落と小園集落を結ぶ連絡道路であり、生活道路である。大蘇ダム関連のモデル団地にも接している。起点、終点も市道であり、市道への昇格の可能性もあると思われるが。

**建設課長** この道は、作業道であり、林道と認識しています。市道昇格は認定基準からすれば厳しいと思います。他に、「農道、県道改良工事について」「JR宮地駅周辺地域の活性化計画について」質問がありました。



間伐作業道（向畑線）

# 市営住宅建替え計画の跡地利用

## 菅 敏徳



**菅** 新橋・竹林・番出及び小里住宅が建替の対象団地となっているが、団地完成の時期はいつ頃か。

**伊藤建設課長** 平成18年3月に策定致しました市営住宅総合基本計画に基づき、当初は24年度に完成予定でしたが、平成23年度工事を見合わせることにしましたので一年間は延びることになります。

**菅** 各対象団地の跡地利用については、地域高規格道路、二重の峠トンネルを早期に実現し、工業団地を抱える大津、菊陽、合志などの通勤族をターゲットとしたベットタウン構想を検討してはどうか。

**建設課長** 番出、小里団地の2階建は残し、その他は解体することになっています。今後の活用としては総合的に考えていきたいと思っています。

## ひのくに会館跡地について

**菅** 東日本大震災の支援事業を目的として購入されたと理解しているが、

相違ないかお尋ねする。

**井野企画振興課長** 公立学校共済組合より、被災された方の支援事業に使用するという事で譲り受け、5年間は本物件の売買・贈与・交換等の所有権移転ができない条件となっております。

**菅** 若者の定住化、内牧地域活性化の為にひのくに会館跡地利用の試案があれば、お聞かせ下さい。

**佐藤市長** 今は被災者の受入施設が一番ですが、お年寄りや福祉関係の温泉利用施設や、新しい就農者のための研修センター等いろいろ考えられますが、今後の内牧の活性化と阿蘇市の発展の為に大きな課題です。

他に「内牧地域活性化(あそ☆ピバ)について」質問がありました。



旧ひのくに会館